

すわみつえ通信

No.97 2019年 11月4日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



**ホームページで、すわみつえ
の政策とお約束をご紹介します。**

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

大もうけをしていの大企業や富裕層に、その経済力に見合った税金を負担してもらひつゝで、消費税の引き下げや国民生活を支えるさまざまな政策を実現する財源を十分つくりだせます。

「カードで払うと安くなるの？」とお店のポイントカードを見せて尋ねて、いの場面に出来ました。店員さんがクレジット機能が付いていないため、支払いには使えないと丁寧に説明していました。買つ店や現金かキャッシュレス決済かで税率が違うため、消費者にもお店の側にも混乱を招いて



(左) すわみつえ市議 (右) 星野みつお市議

消費税5%に引き下げよ！

第19分団の鴻巣市消防団の特別点検が11月3日(日)に埼玉県消防学校で行われました。服装や機械器具の点検に続き、放水訓練も行いました。台風19号の時には消防団の皆さんも避難所で避難支援をしたり、待機して備えたりしたそうです。口頭の点検や訓練がありて、今後緊急時に対応できるのだと感じました。

すわみつえ公式ホームページのアクセス数が増えています！

公民館・児童センターの活動を発表する箕田公民館祭りに伺いました。晴天に恵まれ、多くの方が中庭で食事したり催し物を観たりと楽しんでおられました。豚汁と赤飯に吉鼓を打ち「フランダンス」の発表に気持ちは軽やかになりました。

A woman with short dark hair, wearing an orange double-breasted jacket over a white blouse and light-colored pants, stands smiling next to a tall vertical banner. The banner is decorated with colorful flower illustrations at the top and bottom. The text on the banner reads "箕田公民館 滝壺セントラルまつり" (Hamada Civic Center Matsuri). In the background, there's a building with a tiled roof and some trees under a clear blue sky.

すわみつえ市議

箕田公民館祭りに参加

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

消費税減税・廃止へ
疑問に答えます

6

どうかは、政権の姿勢の問題です。安倍首相は、日本共産党の立場を理解して、税制改正案を提出するに至りました。しかし、この税制改正案は、必ずしも効率的な税制改革を行なうためのものではありません。むしろ、これまでの税制改正案よりも、より複雑で、より不公平な税制を作り出します。

が衆院本会議の代表質問で求めた「消費税の5%への減税」要求に 対し、「減税はまったく考えていない」と拒否しました。しかし、消費税5% 減税の財源は、これまでみたように大企業と富裕層に応分の負担を行なった上で、共通の共通政策で「消費税10%への引き上げ中止」を公約にたたかいました。10%増税が強行されたもとで、共通野党は7月の参院選は可能です。

本当に5%への引き下げができるの?

共闘の力で道を開く

政策を土台に消費税減税に向けた野党の協議を開始し、共闘のさへなる発展が必要です。

ほんとに腹が立つてしょ
うがない。地方に住む人や
貧乏人は諦めろというの
か。萩生田文科相の暴言に
対し、高校生や保護者たち
のツイートが続々と発信さ

は本人の努力や、きびしい環境に置かれている若者たちの痛みはとじきません。無理もない。そういう首相のもとにいるのですから。「んじは私たちの番です。」「んな人に負けるわけにはいかない」

ほんとに腰が立つてしまふがない。地方に住む人々は諦めろといふの対し、高校生や保護者たちから怒りのツイートが続々と発信されています▼「自分の身の丈に合わせて勝負してほしい」。「人生のうち、自分の志で一回や二回は故郷から出て試験を受ける。いつも緊張感も大事」。大学入試の「民間英語試験導入についてアレジ番組で口にしました。批判を受けている教育格差に背を向けたものです▼地域や経済的な格差、試験の公正性をはじめとする制度全体のあやふやさ。試験の現場からも数々の問題点が指摘され、野党は共

「今まででは声をあげても何も変わらないと思っていたけれど、声をあける人がいるから変わるんだと思えた」。大学入試共通テストへの英語民間試験の導入が延期となつたことを受け、国会を訪れた高校1年の女子生徒が喜びを語りました。この問題で、延期決した。この問題で、延期決した。この問題で、延期決した。

しんぶん赤旗
11月3日付

国会第一

英語民間試験延期 高校生が政治を動かす

党合同ヒアリングで現場の声を強く訴えたり、1週間で4万を超えるネット署名を集めなど、高校生の勇気ある行動は、国会での追及や延期法案提出などの野党の動きの原動力となりました。

貫して運動に参加してきた高校2年の男子生徒は「これまで声をあげてきたことが初めて実った経験をした。おかしいと声をあげたことに応援・賛同してくれる方が増えて、こうして改悪を止める第一歩を踏みだせた」と述べました。

この運動は、若者たちの中に政治は自分たちのためにあるという意識を芽生えさせました。声をあげ続けねば必ず政治は変えられる。そう語る高校生に心を揺さぶられました。(み)

